

(⇒表からの続きです。)

○前回(7月)と比較すると、「生徒アンケート」は21項目中13項目評価が上がり、4項目下がりました。1項目ごとの平均値も、1.6ポイント上昇しています。これに対して、「保護者アンケート」は、19項目中で上がったのは5項目のみで、12項目下がりました。1項目ごとの平均値も、1.2ポイント下がっています。前回は「生徒アンケート」が低く、「保護者アンケート」は高めであったことを考えると、全く逆の結果となってしまいました。これは、保護者の方の中には、1学期は年度が始まったということで、子どもや学校に対する期待感が大きかったものの、2学期になってそれが子どもの教育活動の成果に表れていないということが評価の低下につながったのではないかと思います。保護者の方々のご期待に応えられていないということに対しては、校長として反省をしております。

○生徒の評価は上がりましたが、2学期にもなって学校生活に慣れ、自らの意思で行動できていることが、評価を押し上げた要因ではないかと思っております。それが「13 学習や悩みごとなど先生に気軽に相談できる」のプラス7ポイント、「14 学級は居心地がよいと思う」のプラス6ポイントにつながったのではないのでしょうか。これは校長として、かなりうれしいことです。

○生徒は上がり、保護者は下がりましたが、そのアンケート結果が最も極端に違っていたのが、「自分(子ども)の将来の夢や希望する進路について親子で話し合っている」という項目でした。生徒はマイナス4ポイント、保護者はプラス4ポイントでした。中学生は、親との会話を敬遠しがちなイメージがありますが、受験期の3年生に限っては志望校決定について親子で話す機会が増えざるを得ません。普段でも、年長者である保護者の方から語りかけていくことで、会話は増えていくものと考えます。子どもの悩みや不安に対応していくためには、会話やコミュニケーションは不可欠です。学校ももちろんですが、保護者の方々にもよろしくお願いいたします。

○7月にもご説明いたしましたが、今年度の学校目標は「自己有用感をともなった自己肯定感が持てる生徒の育成」です。『自己肯定感』とは「自己の身体的な特徴や能力、性格などについて肯定的に考えたり、感じたりする感情」です。『自己有用感』とは、「認めてもらってうれしかった、役に立ってよかった、必要とされている」などという「自己の存在を価値あるものと受け止める感覚」です。具体的に言えば、「自分のことを好き」という感情ですが、何の根拠もなく「好き」と言っても、そこには自意識ばかりが目立ち、他者になかなか受け入れられないばかりか、長続きしないのではないかと私は考えます。そこで、自己の存在を認められたり、他者から必要とされたりする感覚が高まると、他者との関係を肯定的に受け止め、他者との関係を積極的につくろうと努力し続けることができると考え、『自己有用感』を入れたのです。これに関連する項目では、「生徒アンケート」では「20 自分のことは好きである(自己肯定感)」がプラス5ポイント、「21 自分は家族や友人から認められたり、必要とされていると思う(自己有用感)」がプラス6ポイントとなりました。「保護者アンケート」でも、「18 子どもは自分のことは好きであると思う(自己肯定感)」がプラスとなっていることは、学校目標を考えると、何よりもうれしいことです。3学期はさらに上がるよう、生徒に寄り添った指導を何よりも心がけていきたいと思います。

○「生徒アンケート」の「19 先生はがんばったことを認めてくれる」がマイナス2ポイント、「保護者アンケート」の「17 学校(先生)は子どもががんばったことを認めてくれていると思う」もやはりマイナス2ポイントと、どちらも下がったことは学校の指導がいたらなかった結果として、真摯に受け止めたいと思います。それが、「保護者アンケート」の「19 子どもは友人、先生から認められたり必要とされていると思う」のマイナス4ポイントの評価にもつながっているのだと感じます。前述した学校目標を達成するための基本的手段として、「認める」「ほめる」「励ます」という肯定的評価を、昨年度以上に意図的・積極的に行っていこうというのが、本校教職員の合言葉だったのですが、それが浸透していなかったということを、やはり校長として猛省したいと思います。3学期はまずは生徒の目線にたって、しっかり「認めて」いきたいと思います。

○最後に、「保護者アンケート」の「10 テレビ・ゲーム・SNSは時間を決めて長々と遊ばないようにさせている」は、マイナス7ポイントと最も大きく下がりました。生徒は、関連する項目「12 テレビ・ゲーム・SNSは時間を決めて遊んでいる」で1ポイント上がっているにもかかわらず、相反する結果となっています。子どもにとって遊ぶことも必要ですが、どんなことでも自らを律することは今後の成長にも大きく関わってきますので、ご家庭でのルール作りや子どもの理解を得て、ご協力いただければと思います。

●年末の大変ご多用の中、アンケートにご協力いただき、本当にありがとうございました。今後の指導や学校運営に必ず生かしていきます。